

山社協発第 471 号
令和 6 年 2 月 5 日

関係各位

社会福祉法人 山梨県社会福祉協議会
会長 高野 孫左エ門
(公 印 省 略)

やまなし地域福祉応援プラットフォーム主催

「第 1 回 やまなし地域福祉フォーラム」の開催について (案内)

日頃から本会事業の推進にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、やまなし地域福祉応援プラットフォームは「孤独・孤立を防ぎ、誰一人取り残さない地域社会の実現」を目標に、地域における支え合い活動（地域福祉活動）の活性化を図っていくため、令和 5 年度より活動を始めました。年に 1 回、県内の関係者が一堂に集まり、共通するテーマについての学びを深め、顔の見える関係づくりを進めることを目的として、別添開催案内のとおり、標記フォーラムを開催します。

つきましては、関係者への周知ならびに参加方につき、ご高配を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

1. 日 時 令和 6 年 3 月 6 日 (水) 午後 1 時～4 時 30 分
2. 場 所 山梨市民会館 大ホール (山梨市万力 1830)
3. 対 象 下記の関係者のほか、関心のある方どなたでもご参加いただけます。
社会福祉法人、福祉事業関係者、民生委員・児童委員、NPO 法人、ボランティア、教育関係者、民間企業、行政ならびに社会福祉協議会ほか
4. 申込締切 令和 6 年 2 月 26 日 (月)
5. 申込方法 別添案内の QR コード先、フォームまたは裏面の参加申込書にてお申込みください。

【お問い合わせ先】

やまなし地域福祉応援プラットフォーム事務局
社会福祉法人 山梨県社会福祉協議会
コミュニティ再生推進室 (担当: 進藤・矢巻)
〒400-0005 甲府市北新 1-2-12 山梨県福祉プラザ 4 階
Tel: 055-254-8696 Fax: 055-254-8614
E-mail: chiikipj@y-fukushi.or.jp

送付先⇒ MAIL chiikipj@y-fukushi.or.jp / FAX 055-254-8614

やまなし地域福祉応援プラットフォーム事務局（山梨県社会福祉協議会 コミュニティ再生推進室）行

第1回 やまなし地域福祉フォーラム 参加申込書

所属 (団体名または会社名)	
所属種別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 社会福祉法人 <input type="checkbox"/> 株式会社 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 民生委員・児童委員 <input type="checkbox"/> 教育関係 <input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 社会福祉協議会 <input type="checkbox"/> その他 ()
所属地域	<input type="checkbox"/> 峡北 <input type="checkbox"/> 峡中 <input type="checkbox"/> 峡南 <input type="checkbox"/> 峡東 <input type="checkbox"/> 東部 <input type="checkbox"/> 富士五湖
申込者氏名	
申込者連絡先 (日中連絡可能なもの)	
メールアドレス	
参加人数 (団体でまとめて申込む場合のみ)	名
アクセス手段 (団体でまとめて申込む場合のみ)	<input type="checkbox"/> 個別の移動手段で参加 <input type="checkbox"/> 貸切バス
参加にあたっての配慮の有無とその内容 (例:車椅子利用等)	

第1回 やまなし地域福祉フォーラム 開催要項

趣旨

やまなし地域福祉応援プラットフォームは、「孤独・孤立を防ぎ、誰一人取り残さない地域社会の実現」を目標にし、地域における支え合い活動（地域福祉活動）の活性化を図っていくために、令和5年度より活動を始めました。本プラットフォームでは、多様な団体・人々とのパートナーシップにより、地域における課題に取り組むための場となるよう、県内外における様々な取り組みを学び合う時間や、ネットワークづくりに関する取り組みを行い、「である・つながる・やってみる」の3つの視点を大切に活動を行っています。

今年度初開催となる「やまなし地域福祉フォーラム」は、年に1回、県内の関係者が一堂に集まり、共通するテーマについての学びを深め、顔の見える関係づくりを進めることを目的としています。

今回の開催テーマは「つながりをみつめなおす」。つながりについて鳥の目・虫の目で観察してみることを通じ、「地域とのつながりがもたらすもの」を深掘りしながら、これからの山梨における地域づくりについて考えていく時間とします。

主 催 やまなし地域福祉応援プラットフォーム（事務局 山梨県社会福祉協議会）

日 時 令和6年3月6日（水）13時～16時30分

会 場 山梨市民会館 大ホール（山梨市万力1830）

対 象 下記の関係者のほか、関心のある方はどなたでもご参加いただけます。

- (1)やまなし地域福祉応援プラットフォーム加入団体
- (2)社会福祉法人ならびに福祉関係事業者
- (3)民生委員・児童委員
- (4)NPO 法人・ボランティア団体
- (5)教育関係者（スクールソーシャルワーカー、社会教育関係者ほか）
- (6)企業関係者
- (7)行政ならびに社会福祉協議会

費 用 無料

内 容

○オープニングトーク (13時～13時10分)	あいさつ： 社会福祉法人山梨県社会福祉協議会 副会長（※調整中） 趣旨説明： 『やまなし地域福祉応援プラットフォームについて』 社会福祉法人 山梨県社会福祉協議会 コミュニティ再生推進室 室長 進藤 明美
----------------------------	---

○基調講演

(13時10分～14時10分)

テーマ：

『変わりゆくつながりの形～これからのつながりを考える～
(仮題)』

早稲田大学文学学術院 文化構想学部 教授 石田 光規 さん

時代の変遷とともにつながりのカタチは刻々と変化をしており、当たり前だと思っていたことがたちまち変わっていく時代に私たちは生きています。人との距離や価値観、取り巻く環境がわりゆくいまだからこそ、“つながり”が社会の中でどのように変化してきたのかを大きく俯瞰してみることで、変わりゆくカタチに寄り添った「つながり方」を考える時間とします。



【略歴】

東京都立大学大学院社会科学研究科単位取得退学。博士(社会学)。大妻女子大学専任講師、准教授、早稲田大学文学学術院准教授を経て2016年より現職。孤立やつながりづくりなど、現代社会の人間関係に焦点をあてて研究をしている。著書として『「友だち」から自由になる』(光文社、2022年)、『「人それぞれ」がさみしい』(筑摩書房、2022年)、『友人の社会史』(晃洋書房、2021年)、『孤立不安社会』(勁草書房、2018年)、『つながりづくりの隘路』(勁草書房、2015年)など多数。2021年11月から内閣官房孤独・孤立対策担当室『孤独・孤立対策の重点計画に関する有識者会議』委員。

○つながりクロストーク
(14時20分～15時50分)

テーマ：『やまなしにおけるつながりの現在地～地域とのつながりがもたらすもの～』

ゲスト：

○日本青年会議所 関東地区山梨ブロック協議会
第53代代表 森屋 真一郎さん



“希望あふれる地域の創造”をビジョンに掲げ、地域の次世代人材の育成や社会貢献活動に取り組んでいる青年会議所。山梨における企業や地域への変化を見据え、青年会議所だからこそできるこれからの地域づくりを語っていただきます。

○社会福祉法人 甲斐市社会福祉協議会 地域福祉係
係長 雨宮 周太 さん



地域の住民や学生ボランティアの協力を得ながら、子ども食堂や学習支援など、子どもの居場所づくり・子育て支援に取り組んでいる甲斐市社会福祉協議会。これまでの活動から感じている社協ならではのこれからのつながりづくりについて伺います。

○一般社団法人ヒトナリ（ソーシャルハウス宝島 島主）
代表理事 上田 潤 さん



「人のつながりで社会課題と向き合う」というコンセプトで、フリースクールや地域サロンの運営、高齢者の生活支援など、“人がとらぬ景色をつくる活動”を行っている上田さん。それぞれができることを持ち寄り、ともに過ごす景色から見えた、地域が持つ可能性についてお話を伺います。

○登校支援型フリースクールにじ Labo
代表 田巻 典子 さん



“いつだって自分らしく生きていく”を理念に、子どもたちの主体性・自分らしさに寄り添い、学校という場所にとどまらず、子どもたちとともに学びの場をつくらせているにじLabo。地域との関わりが子どもたちにもたらすもの、これからの子ども×地域×教育について、お話を伺います。

コーディネーター：保坂 和輝 さん



やまなし地域福祉応援プラットフォームアドバイザー。作業療法士。小菅村（山間地域）や山梨市等で地域づくりアドバイザーとして活躍されています。

コメンテーター：石田 光規さん

○つながりワーク (16時00分～16時20分)	・今日のマイキーワード ・キーワード共有
○まとめ (16時20分～16時30分)	・コメンテータ&コーディネーターからのコメント
閉会 (16時30分)	

申込方法 下のQRコード先、申込フォームまたは別紙の参加申込書により令和6年2月26日(月)までにお申込みください。なお、団体でのご参加の場合は代表者の方の連絡先を登録いただき、参加人数を入力してください。また、貸切バス等でお越しいただく場合はその旨フォーム内の該当箇所にチェックをお願いいたします。

参加申込フォーム QRコード ⇒



備考 貸切バスでお越しの方は別途駐車場所を用意する予定です。詳細については登録いただきましたメールアドレスに追ってご連絡させていただきます。

問合せ先 社会福祉法人 山梨県社会福祉協議会 コミュニティ再生推進室 (担当: 矢巻)
TEL 055-254-8696 FAX 055-254-8614
MAIL chiikipj@y-fukushi.or.jp

会場案内 山梨市民会館 (山梨市万力1830)



YAMANASHI COMMUNITY WELFARE FORUM



想像してみよう これからの まち・ひと・くらし

開催テーマ：つながりをみつめなおす



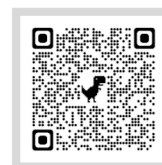
開催日時 | 令和6年3月6日(水)午後1時より
会場 | 山梨市民会館大ホール (山梨市万力1830)
費用 | 無料
対象 | 関心のある方はどなたでも参加可能
参加申込 | 令和6年2月26日(月)まで
右のフォームまたはメールにてお申込みください。

やまなし地域福祉フォーラム

お問い合わせ：
やまなし地域福祉応援
プラットフォーム事務局
(山梨県社会福祉協議会
コミュニティ再生推進室)

TEL 055-254-8696
MAIL chiikipj@y-fukushi.or.jp

申込フォーム



●やまなし地域福祉フォーラム内容●

13時00分 開会・オープニングトーク

13時10分 基調講演

変わりゆくつながりのカタチ～これからのつながりを考える～（仮題）

時代の変遷とともにつながりのカタチは刻々と変化をしており、当たり前だと思っていたことがたちまち変わっていく時代に私たちは生きています。人との距離や価値観、取り巻く環境が変わりゆくいまだからこそ、“つながり”が社会の中でどのように変化してきたのかを大きく俯瞰してみることで、変わりゆくカタチに寄り添った「つながり方」を考える時間とします。

早稲田大学文学学術院 文化構想学部 教授 石田 光規 さん



【略歴】東京都立大学大学院社会科学研究科単位取得退学。博士（社会学）。大妻女子大学専任講師、准教授、早稲田大学文学学術院准教授を経て2016年より現職。孤立やつながりづくりなど、現代社会の人間関係に焦点をあてて研究をしている。著書として『「友だち」から自由になる』（光文社、2022年）、『「人それぞれ」がさみしい』（筑摩書房、2022年）、『友人の社会史』（晃洋書房、2021年）、『孤立不安社会』（勤草書房、2018年）、『つながりづくりの陰路』（勤草書房、2015年）など多数。2021年11月から内閣官房孤独・孤立対策担当室『孤独・孤立対策の重点計画に関する有識者会議』委員。

14時20分 つながりクロストーク（対談）

やまなしにおけるつながりの現在地～地域とのつながりがもたらすもの～

ゲスト:



日本青年会議所 関東地区山梨ブロック協議会
第53代代表 森屋 真一郎 さん

社会福祉法人甲斐市社会福祉協議会
地域福祉係 係長 雨宮 周太 さん



一般社団法人ヒトナリ（ソーシャルハウス宝島 島主）
代表理事 上田 潤 さん



登校支援型フリースクールにじLabo
代表 田巻 典子 さん



コーディネーター：やまなし地域福祉応援PFアドバイザー
保坂 和輝 さん

コメンテーター：早稲田大学文学学術院 教授 石田 光規 さん



16時00分 つながりワーク・キーワード共有

16時20分 クロージングトーク

コメンテーター&コーディネーターからのコメント

16時30分 閉会

やまなし地域福祉応援プラットフォームとは？

やまなし地域福祉応援プラットフォームは、「孤独・孤立を防ぎ、誰一人取り残さない地域社会の実現」を目標にし、地域における支え合い活動（地域福祉活動）の活性化を図っていくために、令和5年度より活動を始めました。多様な団体・人とのパートナーシップにより、地域における課題に取り組むための場となるよう、県内外における様々な取り組みを学び合う時間や、ネットワークづくりに関する取り組みを行い、「であう・つながる・やってみる」の3つの視点を大切に活動を行っています。